



平成18年度表彰

☆優秀作品表彰：JR関西本線・近鉄名古屋線連続立体交差事業

名古屋市緑政土木局

名古屋都市計画都市高速鉄道『東海旅客鉄道関西本線』・『近畿日本鉄道名古屋線』連続立体交差事業は、名古屋市西部に位置し、名古屋駅から西へ、中村区と中川区の区界を平行に運行し、三重県の四日市方面とを結ぶ『JR関西本線』と『近鉄名古屋線』を黄金橋付近から庄内川付近までの間、延長約3.5kmの鉄道2路線を同時に連続的に高架化する事業です。

当該区間には、JRに8箇所、近鉄に7箇所の踏切があり、事業着手前には、ピーク時間当たり最大47分遮断する踏切を含む『ボトルネック踏切』が3箇所ありました。

JR関西本線は平成14年4月に、近鉄名古屋線は平成17年5月に高架化された時点で踏切が除却され、その後、都市計画道路3路線を含む交差道路20箇所を整備しました。

鉄道工事としては、JR関西本線は事業区間3,447m（単線）で、八田駅を移設して高架化されました。近鉄名古屋線は事業区間3,350m（複線）で、八田駅を移設し、烏森駅とともに高架化されました。

概要

事業名

- ・名古屋都市計画都市高速鉄道東海旅客鉄道関西本線連続立体交差事業
- ・名古屋都市計画都市高速鉄道近畿日本鉄道名古屋線連続立体交差事業

都市計画決定 平成3年3月27日

事業認可 平成5年4月30日～

平成19年3月31日

総事業費 約730億円

延長 JR関西本線 3,447m

近鉄名古屋線 3,350m

立体交差化された都市計画道路

都市計画道路3・5・13

日比津小本線（幅員14.54m）

都市計画道路3・3・11

高畑町線（幅員24.54m）

都市計画道路3・5・148

横井町五月通線（幅員15m）

関連事業

（側道）都市計画道路7号線
（八田駅前広場）

南駅前広場 約4,800㎡

北駅前広場 約2,700㎡

